

Ⅱ 希望研修

希望研修では、各自のキャリアステージに合わせた研修講座を選択することができます。教科指導や生徒指導、学校運営に関わる知識・技能及び資質の向上又は課題の解決に向けて、指導の基礎・基本から専門性の深化まで、各自の研修プランにあわせて受講してください。

希望研修講座の中には、最新の情報や動向を文部科学省や国立教育政策研究所から招いた講師から直接聞くことができる講座があります。



文部科学省・国立教育政策研究所から講師を招いた講座

視学官、教科調査官、学力調査官から注目動向や最新情報を知る。

| 講座番号 | 講座名 | 講師 | 対象 | 実施日 | 掲載ページ |
|-----------|---|------------------------------|--------|-----------|-------|
| 3-2-06-21 | 学校と社会がつながるキャリア教育 | 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 長田 徹 | 小中高特専 | 8月 8日(木) | 40 |
| 3-2-08-23 | 学校組織が駆動するICT活用の可能性 ～チーム学校につながる実践のアイデア～ | 文部科学省初等中等教育局 専門官 | 幼小中高特専 | 7月 5日(金) | 41 |
| 3-1-02-03 | 高校地理歴史科 基礎 ～「問い」を追究する授業づくり～ | 国立教育政策研究所 教育課程調査官 中嶋 則夫 | 高特 | 7月29日(月) | 45 |
| 3-1-02-24 | これからの小学校・中学校社会科 ～調査官と学ぶ指導と評価～ | 国立教育政策研究所 教育課程調査官 磯山 恭子 | 小中特 | 11月14日(木) | 46 |
| 3-1-03-24 | 調査官と学ぶ 算数の授業づくり I ～見方・考え方を働かせた授業づくり～ | 国立教育政策研究所 教育課程調査官 笠井 健一 | 小中特 | 8月30日(金) | 46 |
| 3-1-03-25 | 調査官と学ぶ 算数の授業づくり II ～見方・考え方を働かせた授業づくり～ | 国立教育政策研究所 教育課程調査官 直海 知子 | 小中特 | 9月19日(木) | 46 |
| 3-1-04-24 | 中学校理科第1分野の授業づくり ～調査官と学ぶ物理、化学の授業づくり～ | 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 一人 | 中高特 | 7月19日(金) | 48 |
| 3-1-05-21 | 調査官と学ぶ小中連携英語 ～「話すこと」の指導～ | 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 入之内 昌徳 | 小中特 | 6月28日(金) | 50 |
| 3-1-07-21 | 調査官と学ぶ中高音楽 ～指導要領の趣旨と指導と評価の一体化～ | 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 河合 紳和 | 中高特 | 6月 6日(木) | 51 |
| 3-1-07-24 | 調査官と学ぶ小学校音楽 ～指導要領の趣旨と指導と評価の一体化～ | 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 志民 一成 | 小特 | 8月27日(火) | 52 |
| 3-1-08-21 | 調査官と学ぶ小学校図画工作 ～造形遊びの指導と評価のポイント～ | 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 小林 恭代 | 小特 | 6月 7日(金) | 52 |
| 3-1-08-25 | 調査官と学ぶ中学校・高校美術 ～授業に生きる指導と評価のポイント～ | 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 平田 朝一 | 中高特 | 9月26日(木) | 53 |
| 3-1-09-23 | 調査官と考える家庭科の授業づくり ～評価規準の作成と評価方法の検討～ | 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 熊谷 有紀子 | 小中高特 | 7月26日(金) | 53 |
| 3-1-10-23 | 調査官と考える技術科の授業づくり ～評価規準の作成と評価方法の検討～ | 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 渡邊 茂一 | 小中特 | 8月 9日(金) | 54 |
| 3-1-12-21 | 小・中・高 学級づくり 基本 ～調査官と学ぶ特別活動～ | 文部科学省初等中等教育局 視学官 安部 恭子 | 小中高特 | 6月21日(金) | 55 |

下記の研修講座は、センターへ参集して一日開催する講座の午前講義を Web 会議システムツールにて同時配信します。受講希望者は、センター参集またはオンラインのいずれかを選択し申し込んでください（講座番号欄の「参」がセンター参集（終日）の講座番号、「オ」がオンライン（午前のみ）の講座番号）。ただし、指定研修の選択研修としてオンライン講座を申し込むことはできません。

| 講座番号 | 講座名 | 講師 | 対象 | 実施日 | 掲載ページ |
|-------------|-----------------------|-------------|------|-----------|-------|
| 参 3-1-01-22 | 調査官と学ぶ小学校国語科の授業改善 | 国立教育政策研究所 | 小中特 | 9月13日(金) | 44 |
| オ 3-1-01-23 | ～全国学力・学習状況調査から考える～ | 学力調査官 渡辺 誠 | 小中高特 | | |
| 参 3-1-01-26 | 調査官と学ぶ中学校国語科の授業改善 | 国立教育政策研究所 | 小中高特 | 11月14日(木) | 44 |
| オ 3-1-01-27 | ～全国学力・学習状況調査から考える～ | 学力調査官 加藤 咲子 | 小中高特 | | |
| 参 3-1-03-30 | 調査官と学ぶ中高数学の授業づくり I | 国立教育政策研究所 | 中高特 | 10月29日(火) | 47 |
| オ 3-1-03-31 | ～全国学力・学習状況調査を授業改善に繋ぐ～ | 学力調査官 伊吹 竜二 | 中高特 | | |

希望研修
文部科学省 国立教育
政策研究所から講師
を招いた講座

| 講座番号 | 講座名 | 講師 | 対象 | 実施日 | 掲載ページ |
|-------------|-------------------|---------------|-----|----------|-------|
| 参 3-1-03-32 | 調査官と学ぶ中高数学の授業づくりⅡ | 国立教育政策研究所 | 中高特 | 12月6日(金) | 47 |
| 才 3-1-03-33 | ～指導と評価の一体化を目指して～ | 教育課程調査官 水谷 尚人 | 中高特 | | |
| 参 3-1-04-26 | 視学官と学ぶ高校理科 | 文部科学省初等中等教育局 | 高特 | 9月20日(金) | 48 |
| 才 3-1-04-27 | ～生徒を主役にする授業づくり～ | 視学官 藤枝 秀樹 | 高特 | | |
| 参 3-1-05-01 | 小学校外国語活動・外国語 基礎 | 文部科学省初等中等教育局 | 小特 | 7月5日(金) | 49 |
| 才 3-1-05-02 | ～言語活動と評価～ | 視学官 直山 木綿子 | 小中特 | | |
| 参 3-1-05-05 | 中学校英語の授業づくり | 国立教育政策研究所 | 中特 | 7月18日(木) | 50 |
| 才 3-1-05-06 | ～調査官と考える授業改善～ | 学力調査官 賛田 悠 | 中特 | | |
| 参 3-1-11-22 | 調査官と考える道德教育の充実 | 文部科学省初等中等教育局 | 小中特 | 7月1日(月) | 55 |
| 才 3-1-11-23 | ～年間指導計画を見直そう～ | 教科調査官 堀田 竜次 | 小中特 | | |

学校力の向上を目指す研修講座

教職員一人一人の資質能力を育み、「チームとしての学校」づくりを目指す。

| 講座番号・講座名 | | 実施日 | 内容、連絡等 |
|--|----------------------------------|--|--------|
| 現代 3-2-01-21 人権教育Ⅰ ～人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり～ | 10月1日(火) | 長野県におけるこれまでの人権教育の歩み、現状、課題について理解を深め、人権教育を基盤とした学校づくりについて考えます。 講義・演習 「共に創る人権教育」 講師 信州大学 非常勤講師 湯澤 正農夫 講義・演習 「人権教育で大切にしたいこと」 心の支援課主任指導主事 協議 「人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり」 教職教育部専門主事 | |
| 地域社会と連携・協働 目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応 ⑦ ⑧ ⑬ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 小 中 高 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ ○ ○ ○ ○ | ■持ち物 なし | |
| 現代 3-2-01-22 人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～ | 10月17日(木) 松本合同庁舎 長野朝鮮初中級学校 | 授業見学や校長講話等を通して、『多文化共生社会』の実現に向けた授業構想を行ったり、地域の素材を活用した人権教育のあり方を考えたりします。 校長講話、授業見学、学校見学 講師 長野朝鮮初中級学校 校長 河 舜昊 講義・演習 「地域の素材を生かした人権教育」 中信教育事務所生涯学習課指導主事 | |
| ① ② ⑥ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪ ⑬ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 小 中 高 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ ○ ○ ○ ○ | ■松本合同庁舎集合 ※開始時間9:40 ■詳細は2週間前を目途にメールで連絡します。 | |
| 現代 3-2-05-21 性に関する指導研修会 | 8月28日(水) | キャリアアップ研修Ⅱの「現代的な諸課題への対応」(小・中)及び「選択研修Ⅲ」(小・中・特)、「選択必修研修」(高)としてのみ選択可能な講座です。 保健厚生課主催の研修会に参加し、性に関する指導について基本的な考え方や保健学習の効果的な進め方を学びます。 | |
| ⑦ ⑧ ⑩ ⑪ ⑬ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 小 中 高 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ ○ ○ ○ ○ | ■申し込みは長野県総合教育センターにのみ行ってください。 ■参加者には後日正式な案内通知をメールで送付します。 | |
| 現代 3-2-06-21 学校と社会がつながるキャリア教育 | 8月8日(木) | 学習意欲の向上につながるキャリア教育の本質について考えます。 講義・演習 「教室と社会がつながれば学習意欲は向上する」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 長田 徹 講義 「長野県のキャリア教育の現状とこれからのキャリア教育」 実践発表・演習 「各校の取り組み事例から、地域素材をいかしたキャリア教育を考える」 小・中・高等学校実践発表校 | |
| ② ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 小 中 高 特 専 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ ○ ○ ○ ○ | ■持ち物 自校のキャリア教育の指導計画4部 | |
| 現代 3-2-08-21 学校組織マネジメント 応用Ⅰ ～ミドルリーダーのための学校組織マネジメント～ | 7月8日(月) | 「チームとしての学校」におけるミドルリーダーとして、どのような役割を果たせばよいのか。そして、より効果的に人や組織をつなぐために何ができるのかを考えます。 演習・情報交換 「ミドルリーダーの役割を考える ～自分自身の働き方から～」 教職教育部専門主事 講義・演習 「学校組織をマネジメントするコーチング」 講師 常葉大学 教授 久米 昭洋 | |
| ③ ④ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 小 中 高 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ ○ ○ ○ ○ | ■持ち物 なし | |
| 現代 3-2-08-22 学校組織マネジメント 応用Ⅱ ～教育法規と学校運営～ | 12月6日(金) | 教育法規の視点から、学校組織マネジメントの在り方について理解を深め、事例を基に、危機を未然に防ぐための危機管理について考えます。 講義・演習 「2024-教育法規と学校運営 ～スクール・コンプライアンスの視点から～」 講師 日本女子大学 教授 坂田 仰 | |
| ③ ④ ⑤ ⑩ ⑪ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 幼 小 中 高 特 専 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ ○ ○ ○ ○ | ■持ち物 なし | |

学校力の向上を目指す研修

| 信州大学教職大学院 連携講座 | | | | | | | | | | |
|---|------------------|---------------------|-------|---|------------------------------------|--|--|----|------|------|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | | |
| 3-7-03-01 サポート 更新しつづける教師 ～多様な一人ひとりの学びを保障する教室づくり～ | | | | | 6月4日(火) | | 子どもそれぞれの多様性を認める学校になっているでしょうか？自分が慣れている教え方を見直し、子どもたちが実際には何をどう学んでいるのかを謙虚に見つめてみませんか。知らず知らずのうちに凝り固まった「こうでなければならない」をほぐし合い、外国にルーツのある子や特別な配慮を必要とする子にも目に向けて、子どもとつくる主体的・対話的で深い学びを考えてみましょう。 講義・演習 「教育観と授業」 信州大学教職大学院 実務家教員 講義・演習 「教室の中の異文化理解」信州大学教授 徳井 厚子 | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 総合教育センター | | 義初 | 高初 | 義キII | 高キII |
| | ③ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | ○ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | - 小 中 - 特 - | | | | | |
| 3-7-03-02 サポート 学級づくり・学校づくり ～近未来の学校と期待される教師像～ | | | | | 8月9日(金) | | 教職員が同僚性を高めながら学校組織マネジメントに取り組む手立てや、点検や認定のためではなく教育実践の改善につながる学校評価のあり方について学びます。 講義・演習 「チーム学校と同僚性・協働体制づくり」 講義・演習 「教育実践の改善につながる学校評価」 講師 信州大学学術研究院教育学系 特任教授 青木 一 信州大学学術研究院教育学系 助教 宮野 尚 | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 信州大学教育学部 長野キャンパス 図書館2階 | | 義初 | 高初 | 義キII | 高キII |
| | ③ | ④ | ⑥ | | ⑪ | | | | ○ | ○ |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | - 小 中 高 特 - | | | | | |
| 3-7-03-03 へき地・小規模校における教育実践 ～個別最適な学びを実現する授業づくり～ | | | | | 7月29日(月) | | 少人数学級や複式学級の学習指導のあり方を、「個別最適な学び」という観点から再考します。先進校の実践報告や単元設計の演習を通して、小規模校だからこそできる教育実践を追求します。従来の「当たり前」を見直して魅力的な取組を語り合しましょう。 講義 「少人数の良さを生かす授業づくり」 実践発表 「学校が挑む自律的な学びの創造」 県内学校教諭 演習 「少人数学級における個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 伏木 久始 | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 南信州サテライト キャンパス (飯田市立飯田東中学校内) | | 義初 | 高初 | 義キII | 高キII |
| | | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | ○ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | - 小 中 - 特 - | | | | | |
| | | | | | | | ■持ち物 必要に応じてセンターホームページに掲載します。 | | | |

学校力の向上を
 目指す研修

1 教科等教育研修

◆ 先生方のニーズに応え、授業改善につながる研修講座

授業づくりの基礎について学ぶ研修講座

教科のねらいに基づいた魅力ある素材の発見や、教材化について学ぶ研修講座

調査官からの最新の情報や、NITS の資料等から学ぶ研修講座

総合教育センター

教師自身の「主体的・対話的で深い学び」の場に



同じグループの先生方との対話を通して、教材研究のよりよい方向性が見つめた気がするな。



私の実践には、こんな価値があったのだと気付かせてもらえたな。



講座で感じたことを基に、次の単元で、こんな改善を取り入れて、授業してみたいな。

課題・悩み
目的の共有

自己課題
研修テーマ
の設定

対話による
実践の共有
情報交換

受講者の
思いに沿った
話題の焦点化

ふりかえり
学びの共有

実践と理論の往還

子供観、授業観等の
更新や深まり

実践での思いや願いを
センターへ

センターでの学びを
学校へ

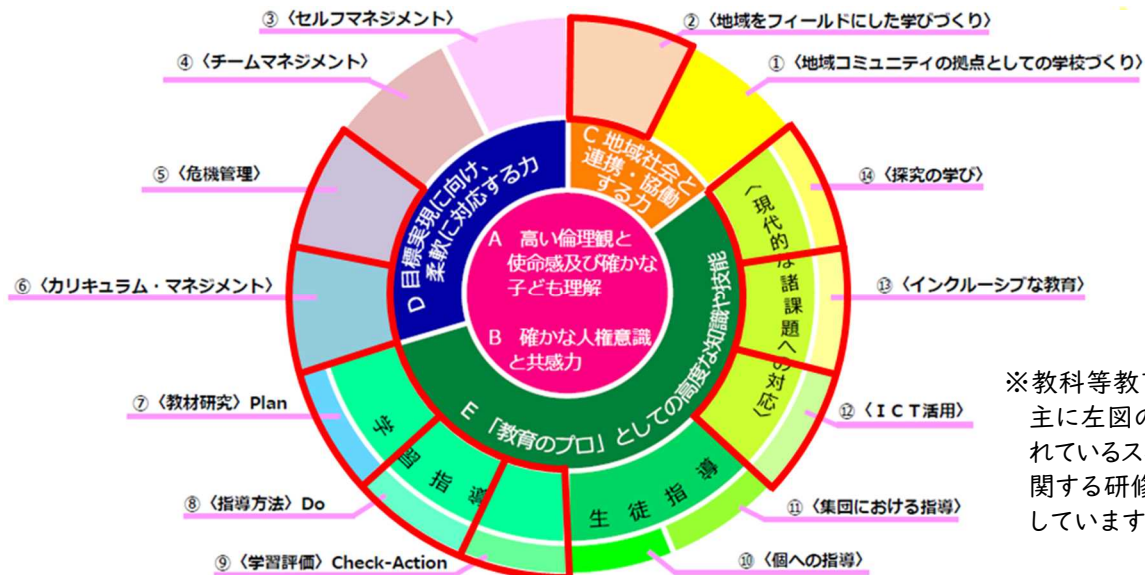
学校

◆ 実践のふりかえり
(リフレクション)

◆ ふりかえりを生かした
実践の更新

講座テキストの活用、校内研修、実践化の相談など、希望に応じて研修後の実践もサポートします。

[長野県教員育成指標の5つの資質・能力と14のスキル]



※教科等教育研修では、主に左図の太線で囲まれているスキルの育成に関する研修講座を展開しています。

| 教科等教育研修 | | | | | | | | | |
|---|------------------|---------------------|-------|------|---|-----|---|---|--|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | |
| 3-1-01-01 小学校国語科の授業づくり基礎A ～言語活動を通して育成する資質・能力～ | | | | | 6月21日(金) | | 学習指導要領や子供の姿を基に、国語科における教材研究や単元・授業づくりについて考えます。 講義・演習1 「ねらいを明確にした『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』の指導について」 講義・演習2 「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」 実践発表 「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 幼 | 小 | - | - | 特 | |
| | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | | |
| | | | | ○ | | | | | |
| 3-1-01-02 小学校国語科の授業づくり基礎B ～言語活動を通して育成する資質・能力～ | | | | | 7月8日(月) | | 学習指導要領や子供の姿を基に、国語科における教材研究や単元・授業づくりについて考えます。 講義・演習1 「ねらいを明確にした『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』の指導について」 講義・演習2 「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」 実践発表 「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 幼 | 小 | - | - | 特 | |
| | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | | |
| | | | | ○ | | | | | |
| 3-1-01-03 中学校国語科の授業づくり基礎 ～言語活動を通して育成する資質・能力～ | | | | | 7月2日(火) | | 学習指導要領や子供の姿を基に、国語科における教材研究や単元・授業づくりについて考えます。 講義・演習1 「ねらいを明確にした『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』の指導について」 講義・演習2 「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」 実践発表 「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | - | 中 | - | 特 | |
| | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | | |
| | | | | ○ | | | | | |
| 3-1-01-21 資質・能力を育成する高校国語科の授業 ～生徒と考える、生徒が考える授業を基に～ | | | | | 6月17日(月) | | 学習指導要領の趣旨及び要点を基に、生徒が主体的・対話的に学ぶ単元・授業づくりについて考えます。 講義 「学習指導要領から考える国語科の主体的・対話的な学び」 演習 「生徒が主体的・対話的に学ぶ国語科の単元・授業づくり」 講師 信州大学学術研究院教育学系 准教授 八木 雄一郎 実践発表 「生徒が主体的・対話的に学ぶ国語科の単元・授業」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | - | 中 | 高 | 特 | |
| | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | | |
| | | | | | ○ | ○ | ○ | | |
| 3-1-01-22 調査官と学ぶ小学校国語科の授業改善 ～全国学力・学習状況調査から考える～ | | | | | 9月13日(金) | | 全国学力・学習状況調査の結果から、子供の課題をとらえ、育む資質・能力(指導事項)を明確にした単元づくり、授業改善について具体的に考えます。 講義 「全国学力・学習状況調査から考える授業改善」 講師 国立教育政策研究所 学力調査官 渡辺 誠 演習 「調査問題から考える国語の単元・授業づくり」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小 | 中 | - | 特 | |
| | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | | |
| | | | | ○ | | ○ | | | |
| 3-1-01-23 調査官と学ぶ小学校国語科の授業改善(オンライン) ～全国学力・学習状況調査から考える～ | | | | | 9月13日(金) 【オンライン研修】 (午前半日開催) ※在勤校にて実施 | | 「小学校国語科基本」の講義をオンラインで聴講する講座です。 全国学力・学習状況調査の結果から、子供の課題をとらえ、育む資質・能力(指導事項)を明確にした単元づくり、授業改善について具体的に考えます。 講義 「全国学力・学習状況調査から考える授業改善」 講師 国立教育政策研究所 学力調査官 渡辺 誠 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小 | 中 | 高 | 特 | |
| | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | | |
| | | | | | ○ | | | | |
| 3-1-01-24 塩尻短歌館探訪 ～短歌に親しむ芸術の秋～ | | | | | 10月4日(金) 塩尻短歌館 | | 「短歌のふるさと」にある塩尻短歌館を訪ね、近代短歌の流れを作った歌人たちの足跡をたどります。短歌作りも楽しめます。短歌づくりで、心と心のキャッチボールをしましょう。 講義 「短歌が繋げた広丘 短歌でつなげる広丘」 演習 「短歌づくり講座」 講師 塩尻短歌館 指導員 藤森 円 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小 | 中 | 高 | 特 | |
| | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | | |
| | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 3-1-01-25 校種間の連携を大事にした古典指導 ～「古典の魅力」を感じ続けるために～ | | | | | 10月18日(金) | | 「我が国の言語文化に関する事項」について、校種間の連携を大切に、古典を通して語彙を豊かにする指導はどうあったらよいか考えます。 講義 「学習指導要領における『伝統的な言語文化』における重複教材の教材研究と指導のポイント」 演習 「『我が国の言語文化』を学ぶための教材研究」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 西 一夫 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小 | 中 | 高 | 特 | |
| | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | | |
| | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 3-1-01-26 調査官と学ぶ中学校国語科の授業改善 ～全国学力・学習状況調査から考える～ | | | | | 11月14日(木) | | 全国学力・学習状況調査の結果から、子供の課題をとらえ、育む資質・能力(指導事項)を明確にした単元づくり、授業改善について具体的に考えます。 講義 「全国学力・学習状況調査から考える授業改善」 講師 国立教育政策研究所 学力調査官 加藤 咲子 演習 「調査問題から考える国語の単元・授業づくり」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小 | 中 | 高 | 特 | |
| | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | | |
| | | | | ○ | | ○ | ○ | | |

| 教科等教育研修 | | | | | | | | | |
|--|------------------|---------------------|-------|-------------|-----------|------|---|-----|-----|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | |
| 3-1-02-24 これからの小学校・中学校社会科 ～調査官と学ぶ指導と評価～ | | | | | 11月14日(木) | | 児童生徒が主体的に追究する「問い」のある授業づくりや単元づくり、学習評価の充実について学びます。 講義・演習 「学習指導要領がめざす指導と評価」 講義・演習 「魅力ある単元を創造する」 講師 国立教育政策研究所 教育課程調査官 磯山 恭子 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 中 - 特 - | | 養初 | 高初 | 養ⅡⅠ | 高ⅡⅠ |
| | | | | | | | | ○ | |
| 3-1-03-21 小学校低学年算数 ～授業づくりはじめの一步～ | | | | | 6月3日(月) | | 算数科の目標や内容についての理解を深め、算数の教材研究の進め方や授業づくりの基礎・基本を、低学年を中心に学びます。 研究協議 「算数指導における工夫と課題」 講義・演習 「算数指導の基礎・基本」「算数の授業づくり」 実践発表 「算数(低学年)の授業の実践」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 中 - 特 - | | 養初 | 高初 | 養ⅡⅠ | 高ⅡⅠ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-03-22 小学校中学年算数 ～授業づくりはじめの一步～ | | | | | 6月13日(木) | | 算数科の目標や内容についての理解を深め、算数の教材研究の進め方や授業づくりの基礎・基本を、中学年を中心に学びます。 研究協議 「算数指導における工夫と課題」 講義・演習 「算数指導の基礎・基本」「算数の授業づくり」 実践発表 「算数(中学年)の授業の実践」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 中 - 特 - | | 養初 | 高初 | 養ⅡⅠ | 高ⅡⅠ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-03-23 小学校高学年算数 ～授業づくりはじめの一步～ | | | | | 7月1日(月) | | 算数科の目標や内容についての理解を深め、算数の教材研究の進め方や授業づくりの基礎・基本を、高学年を中心に学びます。 研究協議 「算数指導における工夫と課題」 講義・演習 「算数指導の基礎・基本」「算数の授業づくり」 実践発表 「算数(高学年)の授業の実践」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 中 - 特 - | | 養初 | 高初 | 養ⅡⅠ | 高ⅡⅠ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-03-24 調査官と学ぶ 算数の授業づくりⅠ ～見方・考え方を働かせた授業づくり～ | | | | | 8月30日(金) | | 学習指導要領の算数科の目標や内容について理解し、数学的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む授業づくりについて、調査官との授業を想定したやり取りを通して学びます。 講義・演習 「資質・能力を育成する算数の授業づくり」 講師 国立教育政策研究所 教育課程調査官 笠井 健一 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 中 - 特 - | | 養初 | 高初 | 養ⅡⅠ | 高ⅡⅠ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-03-25 調査官と学ぶ 算数の授業づくりⅡ ～全国学力・学習状況調査を生かした授業づくり～ | | | | | 9月19日(木) | | 全国学力・学習状況調査の問題に込められた意味や、結果をふまえた授業づくりについて、具体的な授業場面を含めた講義を通して考え合います。 講義・演習 「全国学力・学習状況調査をふまえた算数の授業づくり」 講師 国立教育政策研究所 教育課程調査官 直海 知子 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 中 - 特 - | | 養初 | 高初 | 養ⅡⅠ | 高ⅡⅠ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-03-26 中学校数学 魅力ある授業づくり ～これからの中学校数学の教材研究のあり方～ | | | | | 8月26日(月) | | 数学的な見方・考え方を働かせることのよさが伝わる授業づくりについて、講義や実践発表を通して学びます。 講義 「数学的な見方・考え方を働かせることのよさを味わう」 講師 奈良教育大学数学教育講座 准教授 舟橋 友香 実践発表 「ICTを活用した授業の実践事例」 演習 「授業における効果的なICT活用について考える」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑫ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 中 - 特 - | | 養初 | 高初 | 養ⅡⅠ | 高ⅡⅠ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-03-27 高校数学 統計分野の授業づくり ～統計で考える力の育成を目指して～ | | | | | 6月6日(木) | | 統計分野で身に付けたい資質・能力について理解を深め、「統計で考える力」を身に付けることの大切さを学びます。また、統計分野の授業づくりについて、実践を振り返りながら考えます。 講義 「統計分野の授業づくりに生かすデータとツール」 講師 茨城大学教育学部 教授 小口 祐一 演習 「統計分野の授業づくりを考える」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑫ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 高 特 - | | 養初 | 高初 | 養ⅡⅠ | 高ⅡⅠ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-03-28 高校数学 魅力ある授業づくり ～これからの高校数学の教材研究のあり方～ | | | | | 6月24日(月) | | 数学的な見方・考え方を働かせることのよさが伝わる授業づくりについて、講義や実践発表を通して学びます。 講義 「数学の問題発見・解決の過程」 講師 筑波大学人間系 准教授 小松 孝太郎 実践発表 「ICTを活用した授業の実践事例」 演習 「授業における効果的なICT活用について考える」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑫ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 高 特 - | | 養初 | 高初 | 養ⅡⅠ | 高ⅡⅠ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |

| 教科等教育研修 | | | | | | | | | | |
|--|------------------|---------------------|------|------|--|------|--|----|-------|---------------|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | | |
| 3-1-03-29 中学校高校連携数学 ～数学的活動から中高連携を考える～ | | | | | 9月20日(金) | | 高校生のための学びの基礎診断や大学入学共通テストの出題傾向を踏まえ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力の育成について、中学校・高校の学びを関連付けて検討していきます。 講義・演習 「数学科における数学的活動の充実とその意義」 講師 筑波大学人間系 教授 清水 美憲 演習 「探究的な学び、数学的活動を意識した授業づくり」 ■持ち物 自身が行った授業の板書写真(電子データ) 使用している教科書、授業プリント等 Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ |
| | | | ⑦ | ⑧ | | | | | | ○ ○ ○ ○ |
| 3-1-03-30 調査官と学ぶ中高数学の授業づくり I ～全国学力・学習状況調査を授業改善に繋ぐ～ | | | | | 10月29日(火) | | 全国学力・学習状況調査の問題に込められた意味や、調査結果を踏まえた授業づくりについて学びます。また、中学校・高等学校の双方の学びを共有し、それぞれの授業づくりについて考えます。 講義 「全国学力・学習状況調査問題や調査結果を活用した授業づくり」 講師 国立教育政策研究所 学力調査官 伊吹 竜二 演習 「数学の授業づくりから中高連携を考える」 ■持ち物 教科書、自身が行った授業の板書写真(電子データ) Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | ○ ○ ○ ○ |
| 3-1-03-31 調査官と学ぶ中高数学の授業づくり I (オンライン) ～全国学力・学習状況調査を授業改善に繋ぐ～ | | | | | 10月29日(火) 【オンライン研修】 (午前半日開催) ※在勤校にて実施 | | 「調査官と学ぶ中高数学の授業づくり I」の講義をオンラインで聴講する講座です。 全国学力・学習状況調査の問題に込められた意味や、調査結果を踏まえた授業づくりについて学びます。 講義 「全国学力・学習状況調査問題や調査結果を活用した授業づくり」 講師 国立教育政策研究所 学力調査官 伊吹 竜二 ■詳細は別途メール及びホームページにて連絡します。 | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | ○ ○ ○ ○ |
| 3-1-03-32 調査官と学ぶ中高数学の授業づくり II ～指導と評価の一体化を目指して～ | | | | | 12月6日(金) | | 全国学力・学習状況調査の調査結果から、指導と評価の一体化の必要性についての理解を深めます。また、中学校・高等学校の双方の学びを共有し、生徒の自律を育む授業づくりについて考えます。 講義 「指導と評価の一体化を目指した中高数学科の授業づくり」 講師 国立教育政策研究所 教育課程調査官 水谷 尚人 演習 「生徒の自律を育む数学の授業づくりを考える」 ■持ち物 使用している教科書 自身が行った授業の板書写真(電子データ) Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | ○ ○ ○ ○ |
| 3-1-03-33 調査官と学ぶ中高数学の授業づくり II (オンライン) ～指導と評価の一体化を目指して～ | | | | | 12月6日(金) 【オンライン研修】 (午前半日開催) ※在勤校にて実施 | | 「調査官と学ぶ中高数学の授業づくり II」の講義をオンラインで聴講する講座です。 全国学力・学習状況調査の調査結果から、指導と評価の一体化の必要性についての理解を深めます。 講義 「指導と評価の一体化を目指した中高数学科の授業づくり」 講師 国立教育政策研究所 教育課程調査官 水谷 尚人 ■詳細は別途メール及びホームページにて連絡します。 | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | ○ ○ ○ ○ |
| 3-1-04-01 小学校理科実験 基礎 ～薬品の扱いや理科室の管理を学ぶ～ | | | | | 6月7日(金) | | 「理科を担当することになったけれど、どうしよう…」そんな不安をお持ちの先生向けの講座です。実験のやり方から実験の準備・後片付け、理科室の管理まで基本的な知識について一緒に学びましょう! 講義 「理科室の管理と実験準備と後片付け」 実習 「小学校の実験の基礎・基本」 ■持ち物 Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) ※申込時に「受講の目的」欄へ理科の授業の課題や不安を入力してください。 | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | ○ |
| 3-1-04-02 小学校理科 基礎 ～問題解決の過程の充実をめざして～ | | | | | 6月14日(金) | | 理科の授業経験が少ない先生向けの講座です。教科書の実験を行いながら、理科の授業づくりについて考え合います。 情報交換 「理科の楽しさ、難しさ」 演習・協議 「問題を見いだす」 演習 「問題解決の過程を構想する」 ■持ち物 教科書、実験ができる服装(白衣等) Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ |
| | | | ⑦ | ⑧ | | | | | | ○ |
| 3-1-04-03 中学校理科 基礎 ～実験を通して、授業づくりを考えよう～ | | | | | 6月3日(月) | | 教科書に載っている観察、実験を扱いながら、実験操作や教材研究の基礎を学び、科学的に探究する力の育成につながる理科の授業づくりと教材研究について考えます。 協議 「教材研究で大切にしていること」 講義 「生徒の探究を支える授業づくりと教材研究」 演習 「教科書に載っている観察、実験の基礎」 ■持ち物 教科書(1～3年)、白衣(実験ができる服装) ■材料費 1,000円程度 | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | ○ |
| 3-1-04-04 高校理科 基礎 ～授業づくりの基礎・基本～ | | | | | 6月25日(火) | | 授業づくりの基礎・基本を学びたい方を対象とした講座です。高校理科の学習指導要領のポイントを確認し、授業づくりの基礎・基本を学びましょう。 情報交換 「指導における工夫と課題」 講義 「学習指導要領にみる高校理科で求められていること」 演習 「高校理科の授業づくり」 ■持ち物 自身の実践の様子がわかる資料(板書の写真など) Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) ※申込時に「受講の目的」欄へ今年度担当科目を入力してください。 | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | ○ |

教科等教育研修
希望研修

| 教科等教育研修 | | | | | | | | | |
|---|------------------|---------------------|------|------|-------------|------|---|-----|-------|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | |
| 3-1-04-05 高校理科生物実験 基礎 ～生物の基礎実験と指導を学ぶ～ | | | | | 6月28日(金) | | 初任者や実験の苦手な方を対象とした講座です。高校生物がよく行われる基礎的に実験について、実験のやり方、指導のポイントの基本を学びます。実験を上手く行うコツや実験をもとにした授業展開について一緒に考えましょう。 講義 「よく行われる基礎的な生物実験」 講師 伊那北高校 教諭 川越香世子 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | ○ | | |
| 3-1-04-06 高校理科物理・地学実験 基礎 ～物理・地学の基礎実験を学ぶ～ | | | | | 7月2日(火) | | 初任者や実験が苦手な方を対象とした講座です。高校物理・地学の基礎的な実験について、実験のコツや実験をもとにした授業展開について一緒に考えましょう。 講義 「高校物理・地学の実践上の課題と工夫」 実習 「物理・地学の基礎的な実験・教材づくり」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | ○ | | |
| 3-1-04-07 高校理科化学実験 基礎 ～化学の基礎実験と指導を学ぶ～ | | | | | 7月18日(木) | | 初任者や実験の苦手な方を対象とした講座です。高校化学がよく行われる基礎的な実験について、実験のやり方、指導のポイントの基本を学びます。実験を上手く行うコツや実験をもとにした授業展開について一緒に考えましょう。 講義 「よく行われる基礎的な化学実験」 講師 箕輪進修高校 実習助手 登内美枝子 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | ○ | | |
| 3-1-04-21 小学校理科の授業づくり ～理科の見方・考え方を働かせている子供の姿～ | | | | | 9月13日(金) | | 理科の見方・考え方を働かせている子供は、どのように学んでいるのでしょうか。先生方の実践から考え合います。 情報交換 「理科の見方・考え方を働かせるとは」 演習・協議 「子供の学びを捉える」 実践発表 「理科の見方・考え方を働かせて」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | ○ | |
| 3-1-04-22 小学校理科のものづくり ～理科のものづくりについて考えよう～ | | | | | 9月20日(金) | | 各学年のものづくりに取り組みながら、理科におけるものづくりについて考えます。また、ものづくりの魅力を感じながら、授業でどのように生かすと効果的かを考えます。 講義 「ものづくりの活動の充実」 実習・協議 「各学年のものづくり」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | ○ | | ○ |
| 3-1-04-23 中学校理科実験 ～理科実験と指導を学ぶ～ | | | | | 6月21日(金) | | 「中学校で行われる実験の基本を学びたい」「実験指導で悩みがある」といった先生向けの講座です。実験についてきちんと学び、安全に実験を行うために、実験のコツを一緒に学びましょう。 講義 「実験から何を学び、どんな力を養うのか」 実習 「実験の成功率を高める工夫をやってみよう」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | ○ | | ○ |
| 3-1-04-24 中学校理科第1分野の授業づくり ～調査官と学ぶ物理、化学の授業づくり～ | | | | | 7月19日(金) | | 中学校理科第1分野の観察、実験に取り組んだり、持ち寄っていたいただいた日頃の授業実践の情報交換をしたり、授業づくりについてグループで考えたりします。 講義 「中学校理科第1分野の授業づくり」 講師 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 一人 実習 「中学校理科第1分野の観察、実験」 演習 「中学校理科第1分野の授業づくりについて考える」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | ○ | ○ |
| 3-1-04-25 中学校理科第2分野の授業づくり ～生物、地学の教材研究と授業づくり～ | | | | | 8月2日(金) | | 中学校理科第2分野の観察、実験に取り組んだり、持ち寄っていたいただいた日頃の授業実践の情報交換をしたり、授業づくりについてグループで考えたりします。 講義 「中学校理科第2分野の授業づくり」 実習 「中学校理科第2分野の観察、実験」 演習 「中学校理科第2分野の授業づくりについて考える」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | ○ | ○ |
| 3-1-04-26 視学官と学ぶ高校理科 ～生徒を主役にする授業づくり～ | | | | | 9月20日(金) | | 探究の過程を踏まえた授業改善、指導と評価の一体化のための学習評価について考えたい先生方におすすめの講座です。単元に応じた評価基準の設定から観点別学習状況の評価の総括までの一連の流れについて、講義と演習を通して学びます。 講義 「これからの高校理科の授業づくりのポイント」 講師 文部科学省初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹 演習 「指導と評価の一体化を目指した授業づくり」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | ⑭ |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | ○ | | ○ |

| 教科等教育研修 | | | | | | | | | |
|---|------------------|---------------------|-------|-------------|---------------------|-----------------------------------|---|-----|-----|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | |
| 3-1-04-27 視学官と学ぶ高校理科(オンライン) ～生徒を主役にする授業づくり～ | | | | | 9月20日(金) | | 「視学官と学ぶ高校理科」の講義をオンラインで聴講する講座です。 探究の過程を踏まえた授業改善、指導と評価の一体化のための学習評価について考えたい先生方におすすめです。単元に応じた評価基準の設定から観別学習状況の評価の総括までの一連の流れについて、講義を通して学びます。 講義 「これからの高校理科の授業づくりのポイント」 講師 文部科学省初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 【オンライン研修】 (午前半日開催) ※在勤校にて実施 | | | |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - - - 高 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| 3-1-04-28 高校理科実験 ～物化生地のつながりを実験から学ぶ～ | | | | | 10月3日(木) | | 「理科の領域を幅広くつなげた授業をやりたい」「物理・化学・生物・地学のつながりを認識できる実験をやりたい」と考えている先生向けの講座です。共通テーマの実験から物化生地それぞれの授業における扱い方を、情報交換をふまえて一緒に考えましょう。 講義 「理科的な視点を育てる高校理科」 実習 「共通テーマの実験から物化生地のつながりを考える」 ■持ち物 白衣、Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) ■実習費 2,000円程度(詳細は後日連絡します) | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | ⑭ |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - - - 高 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| 3-1-04-29 高校理科課題研究 ～課題研究の指導を学ぶ～ | | | | | 11月11日(月) | | 理科をはじめとする課題研究の指導法についての講座です。研究活動を行う上で、研究の進捗状況や各時期における生徒へのアプローチ方法を学び、課題研究のマネジメントについて考えます。 講義 「高校の課題研究と学習指導要領」 実習 「課題研究をどのように指導しますか？」 ■持ち物 Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) ※申込時に「受講の目的」欄へ課題研究指導の課題や不安をご入力ください。 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | ⑭ |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - - - 高 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| 3-1-04-31 理科小中高の授業づくり ～概念形成から考える小中高のつながり～ | | | | | 11月14日(木) | | 校種の異なる先生方と情報交換を通して一緒に考える講座です。小中高の接続を考えながら、科学に関する基本的な概念形成のための系統性を考えた授業づくりの視点について学びます。 情報交換、協議 「他校種の先生方に聞いてみよう」 講義 「理科教育における校種間のつながり」 演習 「探究の過程を意識した小中高の授業づくり」 ■持ち物 自身の実践の様子がわかる資料(板書の写真など) 使用している教科書・副教材・資料集など Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | ⑭ |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 中 高 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| 3-1-04-41 「生命」領域の単元づくり ～魚・イカ・ブタから学ぶ～ | | | | | 6月20日(木) | | 魚、イカ、ブタの心肺の解剖実習を通して、「生命」領域のどの単元で、何をねらって観察、実験を行うのか考え合います。 実習 「魚の解剖」 「イカの解剖」 「ブタの心肺の解剖」 協議 「生命」領域の単元づくり ■持ち物 白衣、教科書(生命領域) Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) ■材料費 3,000円程度 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | |
| | | | ⑥ | ⑦ | ⑧ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 中 高 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| 3-1-04-42 薬品管理 ～化学実験の準備・運営・後片づけまで～ | | | | | 8月6日(火) (午前半日開催) | | 高校での薬品管理担当の方を対象とした講座です。薬品の管理方法、管理簿のつけ方、廃液の正しい処理方法について学びます。また、実習を通して事故防止のポイントについて学びます。 講義 「薬品管理と廃液処理」 実習 「事故をなくすための実験操作の基本」 ■持ち物 白衣、Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) ※本講座は午前だけの講座になります。 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | ⑤ |
| | | | | | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - - - 高 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| 3-1-04-43 石ころから探る大地の生い立ち ～身近な河原の石ころを教材にしてみよう～ | | | | | 10月4日(金) | | 身近な河原の石の種類を見分け、その大地がどのようにしてできたのかを探る方法について講義と実習で学びます。実習では実際に河原で石を拾い、自らの授業に生かす方法について考えます。 講義・実習 「身近な河原の石ころから探る大地の生い立ち」 講師 信州大学学術研究院教育学系 准教授 竹下 欣宏 講義・演習 「デジタル地質図の使い方」 講師 いづな歴史ふれあい館 館長 富樫 均 ■集合は総合教育センター、現地にはマイクロバスで移動します。 ■持ち物 野外観察に適した服装等(詳細は後日連絡します) | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | ② |
| | | | ⑦ | ⑧ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 中 高 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| 3-1-04-44 授業に生かす天体観測 ～天体望遠鏡を組み立て、観測してみよう～ | | | | | 11月15日(金) | | 天体望遠鏡を組み立てたり、天体モデルなどの教材・教具を製作したり、天体領域の授業づくりについて考えます。 実習 「身近な材料を使った教材・教具の製作」 実践発表 「天体領域の教材研究と授業づくり」 ■持ち物 防寒着(屋上での天体観測を予定)、動きやすい服装 ■材料費 1,000円程度 ■講座終了後、希望者による観望会(16:30～19:00)を実施します。曇天を含む悪天候の際は、当日中止の判断をします。申込時に「受講の目的」欄へ観望会参加の可否を入力してください。 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | ② |
| | | | ⑦ | ⑧ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 中 高 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| 3-1-05-01 小学校外国語活動・外国語 基礎 ～指導と評価～ | | | | | 7月5日(金) | | 講師の講義から、小学校外国語活動・外国語の指導と評価場面や方法について理解を深め、授業づくりに生かしていきます。 講義 「指導と評価の一体化を目指した授業づくり」 講師 文部科学省初等中等教育局 視学官 直山 木綿子 演習 「明日につながる授業づくり」 ■持ち物 担当学年の教材または教科書 自校のCAN-DOリスト(4部) 学習評価に関する参考資料 小学校 外国語・外国語活動 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | ⑦ |
| | | | ⑧ | ⑨ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 - - 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |

教科等教育研修
希望研修

| 教科等教育研修 | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | |
|--|------------------|---------------------|-------|----------|---------------|---|-------------|
| 講座番号・講座名 | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | |
| 3-1-05-02 小学校外国語活動・外国語 基礎(オンライン) ～指導と評価～ | | | | 7月5日(金) | | 「小学校外国語活動・外国語基礎」の講義をオンラインで聴講する講座です。 講師の講義から、小学校外国語活動・外国語の指導と評価場面や方法について理解を深め、授業づくりにかかしていきます。 講義 「指導と評価の一体化を目指した授業づくり」 講師 文部科学省初等中等教育局 視学官 直山 木綿子 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 【オンライン研修】(午前半日開催) ※在勤校にて実施 | |
| | | | ⑧ ⑨ | | | 基礎形成 | 伸長 充実 深化・貢献 |
| | | | | 小 中 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ | | |
| 3-1-05-03 言語活動を通して育成する資質・能力 ～小学校の指導のポイント～ | | | | 7月8日(月) | | 講師の講義から、言語活動を通して育成する資質・能力について理解を深め、「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」の視点で、授業改善について考えます。 講義 「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 演習 「明日につながる授業づくり」 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | | ⑦ ⑧ ⑨ | | | 基礎形成 | 伸長 充実 深化・貢献 |
| | | | | 小 中 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ | | |
| 3-1-05-04 中学校英語 基礎 ～言語活動を通して育成する資質・能力～ | | | | 6月4日(火) | | 学習指導要領に示された指導の要点を確認し、言語活動を通じた指導と学習評価のポイント、単元構想を考えます。 講義・演習 「外国語のねらいと授業づくり」 講義・演習 「学習評価のポイント」 演習 「明日につながる教材研究」 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | | ⑦ ⑧ ⑨ | | | 基礎形成 | 伸長 充実 深化・貢献 |
| | | | | 中 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ | | |
| 3-1-05-05 中学校英語の授業づくり ～調査官と考える授業改善～ | | | | 7月18日(木) | | 全国学力・学習状況調査の結果から、子供たちの課題を捉え、育む資質・能力を明確にした単元づくり、授業改善について具体的に考えます。 講義 「全国学力・学習状況調査から考える授業改善」 講師 国立教育政策研究所 学力調査官 費田 悠 演習 「調査問題を活用した授業づくり」 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | | ⑦ ⑧ ⑨ | | | 基礎形成 | 伸長 充実 深化・貢献 |
| | | | | 中 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ | | |
| 3-1-05-06 中学校英語の授業づくり(オンライン) ～調査官と考える授業改善～ | | | | 7月18日(木) | | 全国学力・学習状況調査の結果から、子供たちの課題を捉えて、授業改善にご活用ください。 講義 「全国学力・学習状況調査から考える授業改善」 講師 国立教育政策研究所 学力調査官 費田 悠 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 【オンライン研修】(午前半日開催) ※在勤校にて実施 | |
| | | | ⑧ ⑨ | | | 基礎形成 | 伸長 充実 深化・貢献 |
| | | | | 中 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ | | |
| 3-1-05-07 中学校・高校英語 基礎Ⅰ ～音読から自己表現につなげるために～ | | | | 6月7日(金) | | 音読指導のねらいを確認し、授業内容を効果的に定着させるための指導法について学びます。さらに、音読指導からどのようにコミュニケーション能力を育成する活動につなげていくかを考えます。 講義 「音読を効果的に授業に取り入れるために」 演習 「様々な音読活動」 演習 「音読から言語活動へ」 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | | ⑦ ⑧ ⑨ | | | 基礎形成 | 伸長 充実 深化・貢献 |
| | | | | 中 高 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ | | |
| 3-1-05-08 中学校・高校英語 基礎Ⅱ ～言語活動におけるICTの活用～ | | | | 6月21日(金) | | 英語でのコミュニケーション能力向上のための活動を体験しながら、ICTの活用方法とその効果について考えます。経験の浅い先生向けの基礎的な内容です。 講義・演習 「生徒が思考する言語活動」 講義・演習 「言語活動にICTを取り入れた授業づくり」 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | | ⑦ ⑧ ⑩ | | | 基礎形成 | 伸長 充実 深化・貢献 |
| | | | | 中 高 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ | | |
| 3-1-05-21 調査官と学ぶ小中連携英語 ～「話すこと」の指導～ | | | | 6月28日(金) | | 「話すこと」における指導のポイントを確認し、小学校と中学校での指導の共通点と相違点から、小中連携を考えます。 演習 「『話すこと』の指導実践から学ぶ」 講義 「『話すこと』の指導のポイント」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 入之内 昌徳 演習 「『話すこと』でつながる小中の外国語学習」 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | | ⑦ ⑧ ⑨ | | | 基礎形成 | 伸長 充実 深化・貢献 |
| | | | | 小 中 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ | | |
| 3-1-05-22 中高接続から考える英語教育 ～学習経験を踏まえた授業づくり～ | | | | 7月4日(木) | | 授業参観を通して、中学校での学習経験について理解を深めます。さらに、中学校から高校への接続を意識した英語の授業づくりについて考えます。 講義 「中高接続のあり方」 授業参観 塩尻市立丘中学校 演習 「学習経験を意識した授業づくり」 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 塩尻市立丘中学校 | |
| | | | ⑦ ⑧ ⑨ | | | 基礎形成 | 伸長 充実 深化・貢献 |
| | | | | 中 高 特 | 義初 高初 義中Ⅱ 高中Ⅱ | | |

| 教科等教育研修 | | | | | | | | | |
|---|------------------|---------------------|-------|-------------|------------------------|----|---|-----|-----|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | |
| 3-1-05-23 中高英語の授業づくりから評価まで ～指導と評価の一体化について～ | | | | | 7月19日(金) | | よりよい授業づくりと評価のあり方について考えます。それぞれの実践をグループで共有し、授業改善に向けて一緒に学びましょう。 講義・演習 「英語の授業づくりと評価」 講師 清泉女学院短期大学 教授 中村 洋一 実践発表 「高校における授業と評価の実践事例」 演習 「指導を評価につなげるために」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | ⑫ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - - 中高特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 3-1-05-24 中高英語の自己表現力を高める指導 ～言語活動を効果的に取り入れる～ | | | | | 11月1日(金) | | 英語でのコミュニケーション能力を向上させるための言語活動について学びます。自己研修として、これまでの授業を振り返るとともに、これからの授業づくりに生かせるヒントが得られます。 講義・演習 「自己表現力を高める指導」 講師 武庫川女子大学 准教授 田中 真由美 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | |
| | | | ⑦ | ⑧ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - - 中高特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | ○ | ○ |
| 3-1-05-25 主体的・対話的な学びを深める授業 ～英語の見方・考え方を働かせる授業づくり～ | | | | | 11月15日(金) | | 高等学校の英語の授業づくりと、主体的・対話的な学びを深める授業における言語活動について学びます。 講義・演習 「高等学校に求められる授業づくり」 講師 東北学院大学 教授 リース エイドリアン 実践発表 「高校における授業の実践事例」 講義・演習 「英語の見方・考え方を働かせる授業づくり」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | ⑫ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - - - 高特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | | ○ |
| 3-8-01-03 上越教育大学連携 国・英で連携する「ことば」を通じた深い学び ～小中高を通じた言語活動の充実を目指して～ | | | | | 7月25日(木) | | 午前講座「『主体的・対話的で深い学び』を目指した授業づくり」 協同的な言語活動に基づく英語授業実践を考えます。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 大場 浩正 午後講座「言葉による見方・考え方が働く深い学びのデザイン」 言語活動の中に個々の多様な国語の学びが現れるのか考えます。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 古閑 晶子 ワークショップ「国・英で実現する言語活動の充実 具体的手立て」 上越教育大学 阿部 雅也 大場 浩正 古閑 晶子 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小中高特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | | ○ |
| 3-1-06-21 生活科 環境の構成で子供が動き出す ～気付きの質を高める教師の支援～ | | | | | 6月3日(月) | | 思いや願いの実現に向けて、子供が自ら考え行動し、自分との関わりで捉える生活科の授業について、環境の構成に視点を当てて考え合います。 情報交換 「生活科の授業で大切にしていること」 演習・協議 「遊ぶものを作ろう」 「子供が自ら動き出す環境の構成」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | |
| | ② | | ⑦ | ⑧ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 幼小 - - 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | | ○ |
| 3-1-06-22 生活科 子供の学びをどう捉えるか ～45分だけ一人を見つめて～ | | | | | 10月25日(金) 松本市立明善小学校 | | 松本市立明善小学校で生活科の授業を参観させていただきます。一人の子供の活動を追い、その子供の学びを見だしませう。自分がどのように子供を見つめているか振り返り、学びを支える教師の支援を考えます。 講師 福島大学人間発達化学類附属学校臨床支援センター副センター長 教授 宗形 潤子 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | |
| | | | ⑥ | ⑦ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 幼小 - - 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | | ○ |
| 3-1-07-01 小学校音楽 基礎 ～初めての音楽の授業づくり～ | | | | | 6月3日(月) | | 初めて音楽の授業を担当するなど、音楽の授業の経験が少ない先生のための講座です。育成を目指す資質・能力について確認し、音楽あそびから広がる楽しい音楽の授業づくりについて、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の授業の具体を通して、体験的に学びます。学習評価やICT活用のポイント、指揮の基本についても学びます。 講義 「音楽科で育成を目指す資質・能力」 講義・演習 「音楽あそびから広がる楽しい音楽の授業づくり」 講義・演習 「音楽会の指揮にチャレンジ」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - 小 - - 特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | | ○ |
| 3-1-07-21 調査官と学ぶ中高音楽 ～指導要領の趣旨と指導と評価の一体化～ | | | | | 6月6日(木) | | 学習指導要領の趣旨を理解するとともに、育成する資質・能力を明確にした授業づくりや、指導と評価の一体化を実現するための評価の場面や方法の具体について、調査官からの講義や演習を通して学びます。 講義 「資質・能力を育む音楽科の授業づくり(仮題)」 演習 「指導と評価の一体化を実現する題材・授業づくり」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 河合 紳和 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - - 中高特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | | ○ |
| 3-1-07-22 子供から音楽を引き出す授業づくり ～鑑賞や音楽づくりを中心に～ | | | | | 7月11日(木) | | 子供たちから音楽を引き出し、見方・考え方を働かせた学びを支えるために、どのように授業の中に身体を動かす活動を取り入れればよいか、模擬授業形式で体験的に学びます。また、それらを取り入れた鑑賞や創作の授業を構想し、今後の実践につなげていくことができるようになります。 講義・演習 「子供から音楽を引き出す授業づくり」 演習 「身体を動かす活動を取り入れた鑑賞や創作の授業づくり」 講師 筑波大学附属小学校 副校長 高倉 弘光 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | | | |
| | | | ⑦ | ⑧ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 幼小中高特 - | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | | ○ |

| 教科等教育研修 | | | | | | | | | | |
|--|------------------|---------------------|---|---|-----------|----|----|-------|---|-----------|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | | | 内容、連絡等 | |
| 3-1-07-23 音楽・家庭科専科のための授業づくり ～実践発表から具体的な授業づくりへ～ | | | | | 8月23日(金) | | | | 音楽、家庭科の授業を担当する小学校の先生を対象とした講座です。子供の気付きを大切に授業づくりの基本や、授業プランについて、実践発表や講義・演習を通して考えます。 実践発表 「音楽的な見方・考え方を働かせた授業の実践」 「子供とともに問題発見し、解決能力を育成する授業づくり」 講義・演習 「主体的・対話的で深い学びにつながる授業プラン」 ■持ち物 普段使用している教科書 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 小 特 |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | | |
| 3-1-07-24 調査官と学ぶ小学校音楽 ～指導要領の趣旨と指導と評価の一体化～ | | | | | 8月27日(火) | | | | 学習指導要領の趣旨を理解するとともに、育成する資質・能力を明確にした授業づくりや、指導と評価の一体化を実現するための評価の場面や方法の具体について、調査官からの講義や演習を通して学びます。 講義 「資質・能力を育む音楽科の授業づくり(仮題)」 演習 「指導と評価の一体化を実現する題材・授業づくり」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 志民 一成 ■持ち物 学習指導要領解説音楽編、使用している教科書、指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 小 特 |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | | |
| 3-1-07-25 共通事項を要とした授業づくり ～知覚から感受へ、鑑賞を中心に～ | | | | | 10月22日(火) | | | | [共通事項]を要とし、知覚し感受し味わうプロセスを重視した授業づくりについて、鑑賞領域を中心に学びます。子供たちの思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を決め出すための教材研究のポイントや、子供たちが視点をもって音楽を聴くための発問のポイントについても学びます。 講義・演習 「子供たちが最後まで聴きたくなる鑑賞の授業」 演習 「子供たちがアクティブに聴きたくなる発問の工夫」 講師 音楽の授業をつくる会 代表 栗飯原 喜男 ■持ち物 学習指導要領解説音楽編/芸術編、使用している教科書 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 小 中 高 特 |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | | |
| 3-1-07-26 音楽の授業とICT活用 ～実践から具体的な活用を考え合う～ | | | | | 11月29日(金) | | | | 音楽の授業におけるICTの効果的な使い方について、みんなで考える講座です。各校のICT(含デジタル教科書)の整備状況や活用状況、具体的な活用例等について情報交換をしたり、ICTでどんなことができるのかを体験的に学んだりします。 実践発表 「ICTを活用した音楽の授業(仮題)」 情報交換 「各校の取組から学ぶ」 演習 「使って感じて考える、音楽の授業とICT」 ■持ち物 学習指導要領解説音楽編、使用している教科書 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 小 中 高 特 |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | | |
| 3-1-07-27 音楽教育の現在から未来へ ～郷土の音楽やAIを活用した授業～ | | | | | 12月10日(火) | | | | 郷土の音楽や諸外国の音楽等について学び、その教材化や授業への取り入れ方を考えます。また、音楽科教育の未来として、生成AIについて体験的に学びます。そして、それらを生かして子供たちが興味・関心ををもって取り組めるような題材と一緒に考えます。 講義・演習 「郷土や諸外国の音楽の扱いについて」 講義・演習 「音楽科教育の未来～生成AIの活用など～」 演習 「郷土や世界の音楽や、生成AIを教材にした授業づくり」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 齊藤 忠彦 ■持ち物 学習指導要領解説音楽編/芸術編、使用している教科書 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 小 中 高 特 |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | | |
| 3-1-08-01 小学校図画工作 授業の基礎 ～児童が主体的に取り組む授業のポイント～ | | | | | 6月25日(火) | | | | 小学校図画工作を基礎から学びます。講義、実践発表を聞き、演習を通して、つくりだす喜びを味わえる授業について考えます。 講義 「小学校図画工作の価値と魅力・実践のポイント」 実践発表 「絵に表す活動の改善を目指して」 実習 「子供の気持ちになって造形活動に取り組み、題材の魅力や指導のポイントについて考えよう」 ■持ち物 実践した題材の作品または作品写真 小学校学習指導要領解説図画工作編 ■材料費 500円程度 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 小 特 |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | | |
| 3-1-08-02 中学校・高校美術 授業の基礎 ～生徒が主体的に取り組む授業のポイント～ | | | | | 7月30日(火) | | | | 中学校・高校美術を基礎から学びます。講義、実践発表を聞き、演習を通して、つくりだす喜びを味わえる授業について考えます。 講義 「中学校・高校美術の価値と魅力・実践のポイント」 実践発表 「造形実験の実践から」 実習 「主題の生成や造形実験の体験を通して、美術の魅力や生徒の表現を支えるものについて考えよう」 ■持ち物 実践した題材の作品または作品写真、年間指導計画6部所属する校種の学習指導要領解説 ■材料費 700円程度 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 中 高 特 |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | | |
| 3-1-08-21 調査官と学ぶ小学校図画工作 ～造形遊びの指導と評価のポイント～ | | | | | 6月7日(金) | | | | 講義や実習を通して、造形遊びをする活動の形成的評価や題材展開の仕方などについて学びます。 講義 「造形遊びをする活動のあり方」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 小林 恭代 実習 「子供の気持ちになって造形遊びを体験するなかで調査官の指導に学ぶ」 ■持ち物 小学校学習指導要領解説図画工作編 造形遊びを実践した際の記録写真(可能な方) ■材料費 500円程度 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 小 特 |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | | |
| 3-1-08-22 創造性を育む鑑賞学習 ～授業に生きる鑑賞学習の理論と実践～ | | | | | 8月8日(木) | | | | 鑑賞学習を充実させるためのポイントを学びます。講義や実習を通して、鑑賞の題材構想や授業展開の仕方について考えます。 講義 「鑑賞するよさを実感する鑑賞学習のあり方」 講師 元日本体育大学 教授 奥村 高明 実習 「児童生徒の気持ちになって奥村先生の指導をもとに体験的に学ぶ鑑賞学習」 ■持ち物 Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) 所属する校種の学習指導要領解説 ■材料費 500円程度 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 小 中 高 特 |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | | |

| 教科等教育研修 | | | | | | | | | |
|--|------------------|---------------------|------|------|-------------|------|---|-----|-------|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | |
| 3-1-08-23 授業に生きる凹版画の魅力 ～体験的に学ぶ凹版画制作の基礎～ | | | | | 8月23日(金) | | 学習指導要領や教科書の版画に関する内容について理解し、凹版画の制作を通して、材料や用具の特性、扱い方を知り、版による表現の魅力をどのように授業に生かしていくか考えます。 講義 「学習指導要領、教科書における版画指導について」 講義・実習 「版画の特性と版題材の可能性」 実習 「体験的に学ぶ銅版画の魅力」 講師 元飯田女子短期大学 教授 北野 敏美 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | ○ | ○ |
| 3-1-08-24 図画工作におけるICT有効活用 ～体験的に学ぶICTの有効性～ | | | | | 9月6日(金) | | 小学校図画工作の授業や評価において、ICT機器を活用する方法やICT機器の有効性について体験的に学びます。 講義 「小学校図画工作におけるICT機器の有効活用」 実習 「体験的に学ぶ図画工作のICT活用 ～発想構想・製作・振り返り・鑑賞などの各場面における実践～」 協議 「ICTを活用した実践事例の情報交換」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | ⑫ |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-08-25 調査官と学ぶ中学校・高校美術 ～授業に生きる指導と評価のポイント～ | | | | | 9月26日(木) | | 中学校・高校の美術の指導と評価について調査官による講義や実習を通して形成的評価や題材展開の仕方などについて学びます。 講義 「中学校・高校美術の指導のポイント」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 平田 朝一 実習 「鑑賞と制作の実習を通して学ぶ指導と評価」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3-1-08-26 美術館を活用した鑑賞学習 ～In下諏訪ハーモ美術館～ | | | | | 11月7日(木) | | 下諏訪町のハーモ美術館で行う講座です。美術館収蔵作品を使った鑑賞の授業や、美術館での鑑賞を表現につなげていく学び、学芸員との連携などについて考えます。 講義 「鑑賞学習の価値と美術館を活用した鑑賞授業」 実践発表 「2分前鑑賞の取り組み」 授業参観 下諏訪町立下諏訪南小学校 演習 「美術館の収蔵作品を使った対話型鑑賞体験」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | ○ | ○ |
| 3-1-08-27 美術におけるICT有効活用 ～体験的に学ぶICTの有効性～ | | | | | 11月29日(金) | | 中学校・高校の美術の制作や指導、評価において、ICT機器を有効に活用する方法について体験的に学びます。 講義 「中学校・高校美術におけるICT機器の有効活用」 実習 「体験的に学ぶ美術のICT活用 ～発想構想・制作・振り返り・鑑賞などの各場面における実践～」 協議 「ICTを活用した実践事例の情報交換」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | ⑫ |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3-1-07-23 音楽・家庭科専科のための授業づくり ～実践発表から具体的な授業づくりへ～ | | | | | 8月23日(金) | | 音楽、家庭科の授業を担当する小学校の先生を対象とした講座です。子供の気付きを大切に授業づくりの基本や、授業プランについて、実践発表や講義・演習を通して考えます。 実践発表 「音楽的な見方・考え方を働かせた授業の実践」 「子供とともに問題発見し、解決能力を育成する授業づくり」 講義・演習 「主体的・対話的で深い学びにつながる授業プラン」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-09-21 初めての 小学校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～ | | | | | 6月7日(金) | | 子供一人一人の技能の差について、悩んだことはありませんか？「衣服の着用と手入れ」の内容を切り口に、「ボタン付け」や「洗濯の仕方」の学習指導のポイントや、学習評価の仕方について学ぶ講座です。初めての小学校家庭科を受け持つ先生はもちろん、授業改善を目指すベテランの先生も大歓迎です。 講義・演習 「子どもの生活に結びつく衣服の着用と手入れ」 講師 早稲田大学 学習院大学 非常勤講師 勝田 映子 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-09-22 初めての 中学校高校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～ | | | | | 6月27日(木) | | 初めて、又は久しぶりに中学校、高校家庭科を担当される先生を対象とした講座です。調理の題材を切り口に、授業づくりの基礎・基本を学びます。午後は、実践発表から、題材構想や学習評価の仕方について学びます。 講義 「学習指導要領と家庭科の授業づくり」 実習 「調理の基礎研究」 実践発表 「幼児の生活と家族」の授業実践 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3-1-09-23 調査官と考える家庭科の授業づくり ～評価規準の作成と評価方法の検討～ | | | | | 7月26日(金) | | 資質・能力を育成する家庭科、家庭分野の指導と、学習評価のあり方について、演習を通して学びます。 講義 「資質・能力を育む家庭科の授業と評価規準作成のポイント」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 熊谷 有紀子 演習 「評価規準の作成と評価方法の検討」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑧ | ⑨ | | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 教科等教育研修 | | | | | | | | | |
|---|------------------|---------------------|-------|------|-------------------------------|----|----|-----|---|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | | | 内容、連絡等 |
| 3-1-09-24 ICTを活用した家庭科の授業づくり ～実践発表と体験から学ぶ～ | | | | | 8月7日(水) | | | | 家庭科の資質・能力の育成を図るためのICTの活用について実践発表や演習を通して学びます。 講義 「学習指導要領と家庭科の授業づくりのポイント」 実践発表 「小学校の制作題材におけるICTの活用」 「中学生の学びをつなぐICTの活用」 演習 「ICTを活用した家庭科の授業づくり」 講師 一般社団法人エンターキー |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑫ |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小中高特 | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3-1-09-25 消費生活・環境の授業づくり ～最新の情報を取り入れた授業づくり～ | | | | | 9月12日(木) | | | | 18歳成人を踏まえて、公正で持続可能な社会の担い手として責任ある行動につながる中学校・高校の授業づくりについて考えます。 講義・演習 「学習指導要領とこれからの消費生活・環境の学習」 講義・演習 「子どもをとりまく消費生活の現状と、自立した消費者の育成に向けた授業のヒント」 講師 中信消費生活センター市町村消費者行政推進支援員 |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 中高特 | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3-1-09-26 信州の食文化と食生活の授業づくり ～地域や季節の食材を用いた授業づくり～ | | | | | 10月22日(火) | | | | 混合だしを使った、地域や季節の食材を用いた1食分の和食(煮物汁物等)の調理を行い、だしの魅力を生かした授業を考えます。 講義 「学習指導要領と食生活の学習」 実習 「地域の食材を用いた1食分の和食の調理」 講師 地元食材を生かしたランチカフェ 調理担当者 演習 「だしの比較実験」 |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小中高特 | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | | |
| 3-1-10-21 初めての 生物育成の技術 ～野菜花き試験場で学ぶ栽培の基本～ | | | | | 6月6日(木) 長野県野菜花き試験場 | | | | 野菜花き試験場で作物の栽培方法と環境調節について学びます。また、生物育成の技術の授業づくりについて考えます。 実習 「管理作業の基本(播種の方法・苗の定植・畑の管理)」 講義 「野菜の栽培と環境調節」 講師 長野県野菜花き試験場 野菜部技師 実践発表・協議 「生物育成の技術の授業づくりについて」 |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小中特 | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-10-22 初めての 材料と加工の技術 ～工作機械の安全とデジタルものづくり～ | | | | | 7月30日(火) 信州大学教育学部 FabLab長野 | | | | 信州大学教育学部で木材加工に使用する機械の保守及び点検方法を学びます。また、FabLab長野でデジタルデータを用いたものづくりと教材化について考えます。 講義・実習 「木工用機械の安全と保守及び点検について」 演習・協議 「デジタルデータを用いたものづくりと教材化」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 村松 浩幸 |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑫ |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小中特 | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-10-23 調査官と考える技術科の授業づくり ～評価規準の作成と評価方法の検討～ | | | | | 8月9日(金) | | | | 学習指導要領の趣旨に沿って、資質・能力を育む授業づくりと、題材の評価規準及び評価方法について考えます。 講義・演習 「資質・能力を育む技術分野の授業」 「題材の評価規準の作成と評価方法のポイント」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 渡邊 茂一 |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小中特 | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-10-24 統合的な問題を扱った授業づくり ～技術科における問題解決のプロセスと思考～ | | | | | 10月24日(木) | | | | 統合的な問題を扱った授業づくりについての講義と演習から、問題解決のプロセスと教材化を学びます。また、題材展開について、情報交換と協議から考えます。 講義・演習 「統合的な問題を扱った授業づくり」 講師 信州大学学術研究院教育学系 小倉 光明 情報交換・協議 「統合的な問題を扱った題材展開」 |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小中特 | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-10-25 じっくり話そう 技術分野の授業づくり ～研修講座と授業実践の往還～ | | | | | 11月18日(月) | | | | 他の研修講座を受講した後の実践を持ち寄って情報交換するとともに、実践発表から授業づくりの工夫と悩みを共有します。また、協議を通して、来年度の授業づくりの構想を立てます。 情報交換 「研修講座で得た学びと、その後の実践について」 実践発表 「令和5年度県大会の授業と今年度の取り組み」 協議 「来年度の授業について」 |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小中特 | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-11-01 小学校・中学校道徳 基礎 ～実践事例から学ぶ道徳科の授業づくり～ | | | | | 11月12日(火) | | | | 学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標を確認します。実践発表の内容や互いの実践を共有し、授業づくりについて考えます。 講義・演習 「道徳科のねらいと授業づくり」 実践発表 「実践事例から学ぶ道徳科の授業づくり」 演習 「ねらいに迫る授業づくり」 |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | - | 小中特 | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |

| 教科等教育研修 | | | | | | | | | |
|---|------------------|---------------------|------|------|--|------|---|-----|-------|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | |
| 3-1-11-21 サポート 道徳性を育むための授業づくり ～考え、議論する道徳の時間～ | | | | | 6月17日(月) | | 講義から児童生徒が、さまざまな考え方や感じ方に触れて、考えを深めることができるようにするために、どのような発問や補助発問、問い返しをしたらよいかを考えます。 講義 「考え、議論する道徳の授業で育む心」 講師 関西福祉大学児童教育学科 教授 新川 靖 演習 「道徳科の授業づくり」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-11-22 調査官と考える道徳教育の充実 ～年間指導計画を見直そう～ | | | | | 7月1日(月) | | 道徳教育の充実を目指して、講師と一緒に道徳科の年間指導計画の見直しを行います。道徳教育推進教師、道徳の係の先生方におすすめの講座です。 講義 「『特別の教科 道徳』と道徳教育」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 堀田 竜次 演習 「道徳科の年間指導計画を見直そう」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| 3-1-11-23 調査官と考える道徳教育の充実(オンライン) ～年間指導計画を見直そう～ | | | | | 7月1日(月) 【オンライン研修】 (午前半日開催) ※在勤校にて実施 | | 「調査官と考える道徳教育の充実」の講義をオンラインで聴講する講座です。 研修後、道徳科の授業を要とした学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実を目指して、講義を踏まえて年間指導計画を見直してみてください。 講義 「『特別の教科 道徳』と道徳教育」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 堀田 竜次 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | | |
| 3-8-01-01 上越教育大学連携 特別の教科道徳 授業づくりの理論と実践 ～小中9年間のつながりを意識した道徳科授業づくり～ | | | | | 6月14日(金) | | 道徳科の意義や小中学校のつながりや指導と評価の一体化を図る授業のあり方に関する講義と、小・中学校それぞれの教材を使った模擬授業や演習を通して、主題やねらい、中心発問や基本発問の作成のあり方、主題やねらいに応じて適切に活用する指導方法などを実践的に学び、道徳科の効果的な授業が展開できるよう、授業力やカリキュラム・マネジメント力の向上を目指します。 講師 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任教授 櫻井 雅明 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任准教授 菅原 友和 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | ⑭ |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | ○ | |
| 3-1-12-01 サポート 小学校 学級づくり 基礎 ～人間関係をたがやす学級活動～ | | | | | 7月12日(金) | | 道徳科の意義や小中学校のつながりや指導と評価の一体化を図る授業のあり方に関する講義と、小・中学校それぞれの教材を使った模擬授業や演習を通して、主題やねらい、中心発問や基本発問の作成のあり方、主題やねらいに応じて適切に活用する指導方法などを実践的に学び、道徳科の効果的な授業が展開できるよう、授業力やカリキュラム・マネジメント力の向上を目指します。 講師 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任教授 櫻井 雅明 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任准教授 菅原 友和 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | | |
| 3-1-12-02 サポート 中学校 学級づくり 基礎 ～人間関係をたがやす学級活動～ | | | | | 7月25日(木) | | 道徳科の意義や小中学校のつながりや指導と評価の一体化を図る授業のあり方に関する講義と、小・中学校それぞれの教材を使った模擬授業や演習を通して、主題やねらい、中心発問や基本発問の作成のあり方、主題やねらいに応じて適切に活用する指導方法などを実践的に学び、道徳科の効果的な授業が展開できるよう、授業力やカリキュラム・マネジメント力の向上を目指します。 講師 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任教授 櫻井 雅明 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任准教授 菅原 友和 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | | | |
| 3-1-12-21 小・中・高 学級づくり 基本 ～調査官と学ぶ特別活動～ | | | | | 6月21日(金) | | 道徳科の意義や小中学校のつながりや指導と評価の一体化を図る授業のあり方に関する講義と、小・中学校それぞれの教材を使った模擬授業や演習を通して、主題やねらい、中心発問や基本発問の作成のあり方、主題やねらいに応じて適切に活用する指導方法などを実践的に学び、道徳科の効果的な授業が展開できるよう、授業力やカリキュラム・マネジメント力の向上を目指します。 講師 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任教授 櫻井 雅明 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任准教授 菅原 友和 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3-8-01-04 上越教育大学連携 学級経営と授業経営の一体的な充実 ～学級経営・授業経営 両面からのマイアクション～ | | | | | 9月3日(火) | | 道徳科の意義や小中学校のつながりや指導と評価の一体化を図る授業のあり方に関する講義と、小・中学校それぞれの教材を使った模擬授業や演習を通して、主題やねらい、中心発問や基本発問の作成のあり方、主題やねらいに応じて適切に活用する指導方法などを実践的に学び、道徳科の効果的な授業が展開できるよう、授業力やカリキュラム・マネジメント力の向上を目指します。 講師 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任教授 櫻井 雅明 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任准教授 菅原 友和 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ③ | ④ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ |
| | | | | | | | | | ⑬ |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | | | ○ | ○ |
| 現代 3-1-14-21 図書館教育 ～学校図書館を活用した探究的な学びの創造～ | | | | | 11月15日(金) 県立長野図書館 | | 道徳科の意義や小中学校のつながりや指導と評価の一体化を図る授業のあり方に関する講義と、小・中学校それぞれの教材を使った模擬授業や演習を通して、主題やねらい、中心発問や基本発問の作成のあり方、主題やねらいに応じて適切に活用する指導方法などを実践的に学び、道徳科の効果的な授業が展開できるよう、授業力やカリキュラム・マネジメント力の向上を目指します。 講師 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任教授 櫻井 雅明 上越教育大学上廣道徳教育アカデミー 特任准教授 菅原 友和 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 |
| | | | ⑦ | ⑧ | | | | | ⑭ |
| | | | | | | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 教科等教育研修 | | | | 実施日 | | | | 内容、連絡等 | | | | | | | |
|--|------------------|---------------------|-----------------------|------------------------------------|---|---|---|--|----|-----|-----|-----|-----|---|---|
| 現代 3-1-15-21 サポート 総合的な学習の時間の単元構成 ～探究的な学習の過程を意識して～ | | | | 9月20日(金) | | | | ご自身や自校の今年度の実践について、少し立ち止まって振り返ってみましょう。先生方の実践は、探究的な学習の過程のどこに位置していますか。参加者同士で前期の実践を振り返り、後期の支援の方向を考えていきます。 省察 「今年度前期の総合的な学習の時間」 実践発表 「子供が探究的に学ぶ総合的な学習の時間」 ■持ち物 今年度の総合的な学習の時間の実践資料 Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) | | | | | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | ② | ⑦ | ⑭ | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | ○ | ○ | | |
| 長野大学連携 総合的な学習・探究の時間Ⅰ(オンライン) ～地元をフィールドにした地域の学び～ | | | | 10月28日(月) 【オンライン研修】 ※在勤校にて実施 | | | | 地域を舞台にした総合的な学習・探究の時間の教材化のあり方をフィールドワークを通じた体験から学びます。 講義・演習 「地元をフィールドにした地域の学び」 講師 長野大学企業情報学部 教授 前川 道博 ■事前課題があります。事前課題の詳細とオンラインの接続方法については、別途メール及びホームページにて連絡します。 | | | | | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | ② | ⑦ | ⑫ | ⑭ | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | ○ | ○ | |
| 現代 3-1-15-23 総合的な学習・探究の時間Ⅱ ～新聞を活用して探究を深める～ | | | | 11月19日(火) | | | | 新聞を授業に活用することの有効性を理解し、横断的・総合的な学習や探究的な学習の授業づくりについて考えます。 講義・演習 「取材力を生かした授業づくり」 講義・演習 「新聞を活用した授業づくり」 講師 長野県新聞活用教育推進協議会 アドバイザー 信濃毎日新聞社 編集委員 ■持ち物 なし | | | | | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | ② | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑭ | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | ○ | ○ |
| サポート 総合的な探究の時間の授業づくり ～「探究したい!」と考える授業づくり～ | | | | 8月5日(月) | | | | 探究学習において、生徒が主体的に探究学習に向かうためにはどのような工夫や指導が必要なのか、情報交換や講義、演習を通して学びます。 情報交換、協議 「総合的な探究の時間の工夫と課題」 講義 「総合的な探究の時間の授業づくりのポイント」 演習 「総合的な探究の時間の授業づくり」 ■持ち物 Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) 自校の総合的な探究の時間の様子がわかるもの(年間計画や生徒が作成したポスター、発表資料など) | | | | | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑭ | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | ○ | ○ | |
| クラウド活用 はじめの一步 ～Classroomを使ってみよう～ | | | | 6月17日(月) | | | | 「クラウドを活用したいけど難しそう」「そもそもクラウドがよくわからない」とお悩みの方を対象とした講座です。クラウドの基礎について学んだり、Classroomを使ってみたり、実践を聴いたりすることで、クラウドの活用について考えます。 講義 「クラウドって何だろう?」 実習・協議 「Classroomを使ってみよう」 実践発表 「授業や校務でクラウドを活用した様子」 ■持ち物 Wi-Fiに接続できる個人の端末(可能な方) | | | | | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ | ⑧ | ⑫ | ⑭ | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | ○ | ○ | |
| サポート 創造性を育むプログラミング教育 ～アナログとデジタルの融合～ | | | | 6月20日(木) | | | | 「スクラッチ」と「キータッチ」を教材とした演習から、創造性を育むプログラミング教育について学びます。また、小学校での実践発表と協議を通して、授業づくりを考えます。 情報交換 「プログラミング教育の授業について」 演習 「創造性を育むプログラミング教育」 実践発表 「小学校プログラミング教育の授業実践」 協議 「プログラミング教育の授業づくり」 ■持ち物 プログラミング教育に関わる実践資料(可能な方) | | | | | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑫ | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | ○ | ○ | |
| サポート 子供の願いが連続するプログラミング教育 ～機械学習を用いた問題解決～ | | | | 9月19日(木) | | | | 「機械学習を用いたセンサ」と「マイクロビット」の教材化について、演習を通して学びます。また、子供の願いや思考に沿った問題解決の過程と授業づくりについて、協議を通して考えます。 演習 「機械学習を用いたセンサとマイクロビットの教材化」 講師 一般社団法人エンターキー 代表理事 濱田 康 協議 「子供の願いや思考に沿った問題解決の過程と授業づくり」 ■持ち物 なし ※小学校高学年～中学校を想定した教材となります。 | | | | | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑫ | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | ○ | ○ | |
| 上越教育大学連携 ICTを活用した授業づくり ～教科学習における効果的なICT活用～ | | | | 7月12日(金) | | | | 午前講座「授業にICTをどう活用していくか、その考えと方法」 1人1台端末を子ども達が活用する授業をどうデザインするか。その考えと方法を講義・演習を通して一緒に学ぶ講座です。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 大島 崇行 午後講座「ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現」 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現するICT(主にタブレット端末、デジタル教科書)の活用を演習中心で学びます。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 榎原 範久 ■持ち物 担当している教科の教科書1冊、個人端末(可能な方) | | | | | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑫ | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | ○ | ○ | |
| 幼児期の子供は遊びと学びの達人 ～遊び浸る子供を支える～ | | | | 7月12日(金) | | | | 幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、特別支援学校小学部の先生方を対象にした講座です。 園種、校種を超えて実践を語り合い、幼児期の子供の遊びや学びを支える支援について考え合います。 講師 福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職大学院 教授 岸野 麻衣 ■持ち物 子供の遊びや学びの様子の写真数枚 受講者同士で写真を基に語り合います。 | | | | | | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | 学習指導 生徒指導 現代的な諸課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ | ⑧ | ⑫ | ⑭ | 義初 | 高初 | 義中Ⅱ | 高中Ⅱ | ○ | ○ | |